

氏名	大 田 祥 子
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3 1 2 4 号
学位授与の日付	平成 9 年 6 月 3 0 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	Bone metabolism and daily physical activity in women undergoing hemodialysis (女性透析患者における骨代謝と運動量の関連)
論文審査委員	教授 清野 佳紀 教授 井上 一 教授 辻 孝夫

学位論文内容の要旨

女性透析患者において、骨代謝と、それに影響する因子を明らかにする目的で、女性透析患者 41 名の、骨塩量、骨代謝マーカー、年齢、透析歴、身体組成、日常生活運動量、栄養状態をとりあげ検討した。その結果、intact PTH が 300pg/ml 未満で明らかな骨線維症やアルミニウム骨症がない 32 名のうち、28%で腰椎の骨塩量が明らかに低下していた。それらの骨代謝は、低 PTH 血症 41%、低オステオカルシン 50%と低回転の頻度が高かった。また、骨塩量は、骨代謝マーカーのうち TRAP (酒石酸抵抗性酸フォスファターゼ) とのみ有意な正の相関を認め、骨代謝が吸収に傾いていた。重回帰分析を用いると、骨塩量は日常生活運動量、Dry body weight、年齢の順で関連が深く、女性透析患者において骨塩量を保つためには、適切な運動量が有用である。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

論文審査結果の要旨

女性透析患者において、骨代謝と、それに影響する因子を明らかにする目的で、女性透析患者 41 名の、骨塩量、骨代謝マーカー、年齢、透析歴、身体組成、日常生活運動量、栄養状態をとりあげ検討した。その結果、intact PTH が 300pg/ml 未満で明らかな骨線維症やアルミニウム骨症がない 32 名のうち、28%で腰椎の骨塩量が明らかに低下していた。それらの骨代謝は、低 PTH 血症 41%、低オステオカルシン 50%と低回転の頻度が高かった。また、骨塩量は、骨代謝マーカーのうち TRAP (酒石酸抵抗性酸フォスファターゼ) とのみ有意な正の相関を認め、骨代謝が吸収に傾いていた。重回帰分析を用いると、骨塩量は日常生活運動量、Dry body weight、年齢の順で関連が深く、女性透析患者において骨塩量を保つためには、適切な運動量が有用である。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。